

# 小さなドアノブに乗せる「思いやり」と「創意工夫」

——高い耐久性と利便性を実現する柔軟な設計力と技術力

記者の目



- ▶ 5000種を超える建築金物を一気通貫で製造
- ▶ 新人に寄り添った教育プログラムでモノづくり人材を育成

## 誰でも使ったことがある トイレの「スライド式ロック」

ベスト青梅は、建築金物の総合メーカーであるベストの研究開発・製造部門を担っている。特に大小さまざまなドアノブや錠前、大型の扉がスムーズに開閉するために組み込まれる機構部分などを多く手がけており、公共トイレなどで見かけるスライド式の鍵は全国でも高いシェアを誇る。

「駅やショッピングモール、東京ディズニーランドのトイレにも当社の製品を使っていたことがあります。日本中の方がおそらく一度は当社の製品を使ったことがある、というのは励みですね」と太田剛彦社長は話す。

現在、製造している製品の種類は5000種以上。社内でプレス加工、旋盤（切削）加工、研磨仕上げ、塗装、組み立てまでを一気通



代表取締役  
太田 剛彦さん

貫で行っている。多種多様な製品に応じた加工工程を考案・実践し、なおかつ細やかな品質・生産管理を進めている。新製品の開発にも積極的で、トイレのスライド式ロックに折りたたみ式のトレーを設置した「忘れ物ゼロトレー」は、スマートフォンなどの置き忘れを防止できると話題だ。また、最近では新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、表面に特殊な抗ウイルス塗料を塗布した製品を開発。こちらも今後、全国に普及することが期待されている。

## モノづくりの「理屈」を きちんと学べる環境

数多くの工程が存在する同社では、当然幅広いモノづくりに関する技術と知識が必要となる。「実際にある設備の操作方法をただ覚えて使うだけではなく、より加工品に適した切削工具などを自分たちで考案することもあります」と話すのは製品部サブライグループマネージャーの三浦慎治さん。マニュアルを暗記するだけではなく、モノづくりの基本的知識を基に、目の前の課題の解決策を考案することになる。そこで、同社ではさまざまな教育制度を用意している。

例えば新人はまず、生産技術面では図面の見方や工具の種類と使い方など、同社でモノづくりを進める上で基礎となる知識を学ぶ。指導を担当する生産技術部の太田



抗ウイルス性を持たせたトイレ用スライド式ロック。今後の普及が期待される

京平さんが心がけるのは「まずは相手に寄り添う」こと。「ここから新しい部署に旅立つわけですから、まず、先輩たちにはなんでも相談できる、と安心してもらえることが大切。そうすればおのずと自信を持って技術を吸収していけるはずです」（太田さん）

また、配属後の新人や入社後数年たった若手社員もしっかりフォローしている。製品部サブライグループチーフの松尾一雄さんは、他のチーフたちと協力しながら月に数回勉強会を開催している。被加工材の特徴や、ビスや工具の特殊な使用方法、工場内のそれぞれの加工機についての基礎知識など日々の業務で役立つ知識を学ぶ場だ。「ただ日々の業務をこなすだけでは配属された部署の関連知識だけしか身に付かない。勉強会では、どの部署でも必要とされる知識を吸収できるよう知恵を絞っています」（松尾さん）

その他にも資格試験の教材は全額を会社が負担し支援するなど、技術向上のためできる限りの環境を用意している。しかし、同社に



スマートフォンなどの忘れ物が多いことに着目し開発した「忘れ物ゼロトレー」



プレス加工の現場。金属板をプレス加工後、研磨や塗装などが施される

にとって本当に必要な人材は「単に工学的知識が豊富というだけではありません」と太田社長は力を込める。

「当社の製品は人種、性別、世代関係なく多くの方に使っていた

だくもの。だからこそ、いかに使いやすいか、丈夫にできるかなどを常に考える必要があります。それは『相手を思いやる』気持ちが必要なければ難しい。技術は先輩たちと一緒に学んでいけばいい。誰か

のために精一杯考えベストを尽くす、そんな人材にぜひ活躍してもらいたいですね」（太田社長）  
思いやりが技術力を高める一歩。こうした信念を持って、同社はモノづくりに邁進している。

## 理系出身の若手社員に聞く

### モノづくりを最大限楽しめる環境

製造部門の三浦慎治さん、太田京平さん、松尾一雄さん、3人ともがまず同社の魅力として挙げるのが「成功体験を共に分かち合える社風」だ。新たな加工法への挑戦や、治具の考案など日々の試行錯誤の結果を先輩後輩関係なく、みんなで考え、時には励まし合い、時には喜ぶ風土がある。

また、もう一つの魅力は休日に、同社の生産設備を自由に使用していいという「特権」。趣味のものを作ったり、試してみたかった加工に挑戦したりと、それぞれが思い思いにモノづくりを楽しむ。松尾さんも、設備を自由に触ることができたおかげで金属プレス加工技能士Ⅰ級の資格を取得した。「こんなに多くの製造方法や素材に触れられる会社はそうないはず。好奇心を存分に刺激してくれる職場です」と松尾さんは話す。



左から松尾一雄さん、三浦慎治さん、太田京平さん

## 会社DATA

本社所在地：東京都青梅市新町8-9-1  
 設立：1987年  
 代表者：代表取締役社長 太田 剛彦  
 資本金：7500万円  
 従業員数：63名  
 事業内容：建具金物および産業機器用製品の設計・製造  
 URL：https://best-grp.co.jp/

